

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月13日

上場取引所 JQ

上場会社名 スパークス・グループ株式会社

コード番号 8739 URL <http://www.sparx.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 阿部 修平

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長

(氏名) 藤井 幹雄

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

TEL 03-5437-9700

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	2,246	△39.9	8	—	△194	—	△641	—
21年3月期第1四半期	3,735	—	△660	—	△273	—	△809	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△318.63	—
21年3月期第1四半期	△403.98	—

当第1四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	36,031	18,443	44.7	7,994.80
21年3月期	37,630	18,005	42.1	7,862.80

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 16,100百万円 21年3月期 15,829百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

現時点では配当予想額は未定であります。(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄参照)

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

当社グループの主たる事業である投信投資顧問業は、業績が経済情勢や相場環境によって大きな影響を受ける状況にあります。このため、当社グループの業績を予想し開示することは難しいと認識しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ―社 (社名) 除外 ―社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	2,076,318株	21年3月期	2,075,680株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	62,427株	21年3月期	62,427株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	2,013,660株	21年3月期第1四半期	2,003,940株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、上記「3. 平成22年3月期の連結業績予想」に掲げた理由から、配当予想額についての記載をしておりません。配当金額が確定した時点で速やかに開示いたします。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の日本株式市場は昨年度末からの堅調な流れを受け上昇しました。足元の経済指標を見ると引き続き世界経済に対する不透明感が残っていますが、4月上旬に開かれた20カ国・地域(G20)首脳会談において参加国が総額5兆ドルの財政出動に踏み切ることを表明し最悪期は脱するとの期待感から世界的に株価は堅調に推移しました。日本においても財政支出15兆円・総事業規模50兆円にのぼる過去最大規模となる追加経済対策を決定したことや4月の景気動向指数において景気の現状を示す一致指数が平成20年5月以来11ヶ月ぶりに前月比プラスになったこと、5月の月例経済報告において景気判断が上方修正されたこと等から日本経済について明るい見通しが出てきたことで日経平均株価は一時平成20年10月以来となる10,000円台を回復する局面もあり、最終的には9,958.44円で当第1四半期の取引を終了しました。

当第1四半期は、株価指数では、日経平均株価が22.8%、TOPIXは20.2%上昇しました。セクター別には株価上昇による収益回復期待から証券・商品先物が上昇率トップになった一方で、原油価格の上昇と資本増強のための増資観測が嫌気された空運業が下落率のトップとなりました。

こうした経営環境の中、昨年度に大きく減少した運用資産残高の回復に努力を重ねたものの、当社グループの当第1四半期連結会計期間末における運用資産残高は、6,985億円(前期末比3.4%減)となりました。

運用会社別では、スパークス・アセット・マネジメント株式会社及びSPARX International (Hong Kong) Limited(以下、「スパークス・アセット社」)の運用資産残高が3,409億円(同13.5%減)、Cosmo Investment Management Co., Ltd.(以下、「コスモ社」)の運用資産残高が2,046億円(同13.4%増)、PMA Capital Management Limited(以下、「PMA社」)の運用資産残高が1,529億円(同2.7%増)となりました。

この結果、残高報酬が前年同期比46.6%減の17億10百万円、成功報酬が同94.5%減の64百万円となりました。また、その他収益43百万円、自己資金による投資育成業務における営業投資有価証券売買損益を4億27百万円を計上した結果、営業収益は同39.9%減の22億46百万円となりました。

営業費用及び一般管理費に関しては、支払手数料や成功報酬に連動した賞与支払額など変動的経費が大きく減少したこと及び昨年度来の経営構造改革の効果により、同49.1%減の22億38百万円となりました。

この結果、営業利益は8百万円(前期は△6億60百万円の営業損失)、経常損失は△1億94百万円(前期は△2億73百万円の経常損失)を計上しました。

投資有価証券の売却損などによる特別損失1億29百万円を計上し、四半期純損失は△6億41百万円となりました。

(注)平成21年6月末運用資産残高は速報値となっております。

当社グループの連結営業収益の項目別内訳は以下のとおりです。

項目	当第1四半期		前第1四半期	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
残高報酬	1,710	76.1	3,205	85.8
成功報酬	64	2.9	1,171	31.4
営業投資有価証券売買損益	427	19.0	-	-
営業投資有価証券評価損益	-	-	△647	△17.3
その他	43	2.0	5	0.1
営業収益合計	2,246	100.0	3,735	100.0

(注)上記の金額には消費税等は含まれておりません。

・残高報酬

現在の報酬料率を基準に各運用手法の特性に基づき顧客との交渉を行っております。

残高報酬料率（ネット・ベース）の推移は以下のとおりです。

区分	当第1四半期	前第1四半期
当社グループ残高報酬料率 (ネット・ベース)	0.85%	0.84%

(注)残高報酬料率（ネット・ベース）＝（残高報酬－残高報酬に係る支払手数料）÷ 期中平均運用資産残高

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の資産は、前期末に比べ15億98百万円減少し、360億31百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が17億10百万円、営業投資有価証券が19億15百万円、のれんが3億13百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前期末に比べ20億36百万円減少し、175億87百万円となりました。主な要因は、一年以内返済長期借入金が15億円減少したこと等によるものです。

純資産は、前期末に比べ4億37百万円増加し、184億43百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの収益の大半は投信投資顧問業に係わる委託者報酬及び投資顧問料収入によって構成されております。通期の見通しにつきましては、当社グループの事業内容が国内外の経済情勢や相場環境によって大きな影響を受ける状況にあることから、業績を予想し開示することは難しいと認識しております。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	12,597	14,307
有価証券	300	247
営業投資有価証券	30	1,945
投資損失引当金	—	△845
短期貸付金	383	478
前払費用	191	187
未収入金	3,184	1,896
未収委託者報酬	492	340
未収投資顧問料	1,013	1,098
未収還付法人税等	460	830
預け金	506	500
繰延税金資産	—	0
その他	31	100
流動資産計	19,189	21,088
固定資産		
有形固定資産	504	541
無形固定資産		
ソフトウェア	108	124
のれん	7,259	7,573
その他	6	5
無形固定資産合計	7,373	7,702
投資その他の資産		
投資有価証券	8,267	7,600
差入保証金	655	652
繰延税金資産	12	4
その他	38	51
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	8,962	8,297
固定資産計	16,841	16,541
資産合計	36,031	37,630

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	500	2,000
未払手数料	230	188
未払金	626	870
未払法人税等	1,034	206
賞与引当金	235	210
経営構造改革関連損失引当金	230	194
海外子会社役員税務関連損失引当金	1,536	1,571
繰延税金負債	11	1,028
その他	60	240
流動負債計	4,466	6,511
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	8,000	8,000
繰延税金負債	48	54
その他	72	59
固定負債計	13,121	13,113
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	0	0
特別法上の準備金合計	0	0
負債合計	17,587	19,624
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,404	12,404
資本剰余金	14,291	14,291
利益剰余金	△4,778	△4,136
自己株式	△4,438	△4,438
評価・換算差額等	△1,379	△2,291
その他有価証券評価差額金	△685	△1,000
為替換算調整勘定	△693	△1,290
新株予約権	102	90
少数株主持分	2,240	2,085
純資産合計	18,443	18,005
負債・純資産合計	36,031	37,630

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業収益		
委託者報酬	734	448
投資顧問料	3,641	1,326
営業投資有価証券売買損益	—	427
営業投資有価証券評価損益	△647	—
その他営業収益	5	43
営業収益計	3,735	2,246
営業費用	612	—
一般管理費	3,783	—
営業費用及び一般管理費	—	2,238
営業利益又は営業損失(△)	△660	8
営業外収益		
受取配当金	132	58
受取利息	117	43
負ののれん償却額	38	28
為替差益	174	—
雑収入	11	50
営業外収益計	475	181
営業外費用		
支払利息	66	56
為替差損	—	320
雑損失	21	7
営業外費用計	87	384
経常損失(△)	△273	△194
特別利益		
投資有価証券売却益	17	1
過年度損益修正益	110	—
その他	13	—
特別利益計	141	1
特別損失		
投資有価証券売却損	—	15
投資有価証券評価損	80	—
経営構造改革関連損失	—	68
過年度損益修正損	19	46
特別損失計	99	129
税金等調整前四半期純損失(△)	△231	△322
法人税、住民税及び事業税	360	1,348
法人税等還付税額	—	△113
過年度法人税等	△2	2
法人税等調整額	102	△952
法人税等合計	460	284
少数株主利益	118	34
四半期純損失(△)	△809	△641

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

運用資産残高の状況

以下の表は、当社グループ（スパークス・アセット社、コスモ社、PMA社）の当第1四半期運用資産残高の状況を示したものです。

以下、数値は当社の持分に係らず運用資産残高の100%を記載しておりますが、当社以外の出資者持分については少数株主損益が計上されます。当社の持分が100%未満のグループ会社の当社持分は以下のとおりであります。

会社名	当第1四半期	前第1四半期
コスモ社	59.1% (間接所有)	67.9% (間接所有)

■会社別の内訳

① 当第1四半期の月末運用資産残高の推移

(単位：億円)

会社名	平成21年4月	平成21年5月	平成21年6月
スパークス・アセット社	3,151	3,313	3,409
コスモ社	2,126	2,121	2,046
PMA社	1,443	1,440	1,529
合計	6,721	6,875	6,985

- (注) 1. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 平成21年6月末運用資産残高は速報値となっております。

②平均運用資産残高の推移

(単位：億円)

会社名	当第1四半期	前第1四半期
スパークス・アセット社	3,291	7,331
コスモ社	2,098	3,151
PMA社	1,471	2,619
合計	6,860	13,102

- (注) 1. 各期の月末運用資産残高の単純平均であります。
2. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。
3. 平成21年6月末運用資産残高は速報値となっております。

③成功報酬付期末運用資産残高及び比率の推移

会社名		平成21年6月	平成20年6月
スパークス・アセット社	残高 (億円)	1,593	3,339
	比率 (%)	46.7	47.3
コスモ社	残高 (億円)	1,842	2,541
	比率 (%)	90.0	86.5
PMA社	残高 (億円)	1,178	2,009
	比率 (%)	77.1	76.2
合計	残高 (億円)	4,614	7,891
	比率 (%)	66.1	62.5

- (注) 1. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 平成21年6月末運用資産残高は速報値となっております。

■スパークス・アセット社運用資産残高の内訳

① 当第1四半期の投資戦略別月末運用資産残高の推移

(単位：億円)

投資戦略	平成21年4月	平成21年5月	平成21年6月
日本株式ロング・ショート投資戦略	955	959	958
日本株式集中投資戦略	280	306	333
ファンド・オブ・ファンズ投資戦略	372	371	374
日本株式一般投資戦略	530	577	601
日本株式中小型投資戦略	871	954	1,066
日本株式バリュー・クリエーション投資戦略	83	85	17
日本株式未公開株式投資戦略	29	32	30
その他	27	26	26
合計	3,151	3,313	3,409

- (注) 1. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 平成21年6月末運用資産残高は速報値となっております。

② 当第1四半期の国内外別月末運用資産残高の推移

(単位：億円)

区分	平成21年4月	平成21年5月	平成21年6月
国内	1,580	1,657	1,748
国外	1,570	1,656	1,660
合計	3,151	3,313	3,409

- (注) 1. 国内・国外の区分けは、ファンドの場合はファンドが組成された地域、投資一任契約及び投資顧問契約の場合は契約相手方の所在地域によっております。
2. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。
3. 平成21年6月末運用資産残高は速報値となっております。

③ 当第1四半期の契約形態別月末運用資産残高の推移

(単位：億円)

区分	平成21年4月	平成21年5月	平成21年6月
投資顧問業	2,034	2,164	2,231
投資信託委託業	1,116	1,148	1,177
合計	3,151	3,313	3,409

- (注) 1. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 平成21年6月末運用資産残高は速報値となっております。

■コスモ社運用資産残高の内訳

① 当第1四半期の投資戦略別月末運用資産残高の推移

(単位：億円)

投資戦略	平成21年4月	平成21年5月	平成21年6月
韓国株式ロング・ショート投資戦略	229	214	210
韓国株式集中投資戦略	90	96	91
韓国株式一般投資戦略	363	369	367
韓国株式インデックス運用戦略	1,362	1,361	1,298
その他	80	79	79
合計	2,126	2,121	2,046

- (注) 1. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 平成21年6月末運用資産残高は速報値となっております。

■PMA社運用資産残高の内訳

① 当第1四半期の投資戦略別月末運用資産残高の推移

(単位：億円)

投資戦略	平成21年4月	平成21年5月	平成21年6月
アジア株式投資戦略	537	546	538
アジア・欧州債券投資戦略	730	718	728
アジア・マクロ投資戦略	175	176	172
その他	-	-	90
合計	1,443	1,440	1,529

- (注) 1. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 平成21年6月末運用資産残高は速報値となっております。